

DLB WEB Seminar

10月17日(月)19:00~19:45

形式：オンライン（Zoomウェビナー）



※右の二次元コードより事前登録へ



※問い合わせ先:住友ファーマ株式会社 京滋北陸CNS営業所(金沢) 梶浦裕樹 080-4653-9570
※ご登録いただきました個人情報は他の目的に使用すること、第三者に提供・開示することは一切ございません。

◆講演 19:00~19:30

座長

栗津神経サナトリウム 院長 **小林 克治** 先生

『 **レビー小体型認知症から我々が学べることは何か**
-臨床の場面でパーキンソニズムの鑑別はできているだろうか？ Ver2- 』

演者

桜ヶ丘病院 副院長 **林 真弘** 先生

◆ディスカッション 19:30~19:45

『 **レビー小体型認知症に対する治療・ケアについて** 』

パネリスト

栗津神経サナトリウム 院長 **小林 克治** 先生

桜ヶ丘病院 副院長 **林 真弘** 先生

桜ヶ丘病院 認知症看護認定看護師 **河合 真智子** 先生

認知症で日本をつなぐシンポジウム2022

住み慣れたまちで 暮らすために

—現状と課題、私たちにできること—



認知症関係当事者・
支援者連絡会議

認知症ケア専門士
3単位取得講座(予定)

参加費
無料
【オンライン】



2022年

11月13日 (日)

13:00~16:00



YouTube
Live

<https://bit.ly/tsunagu2022>

認知症の人もその家族も、住み慣れたまちで暮らし続けたいと願っています。
しかし、現状は多くの困難を抱えています。認知症になっても暮らし続けるため、
現状や課題、好事例などを交え乗り越えていく道を探ります。

■基調講演

住み慣れたまちでの暮らしを願う

当事者との30年

松本 一生 氏

松本診療所 もの忘れクリニック理事長・院長

大阪で30年、認知症の人と家族に医療面で寄り添い、支援者と共に支えている
松本医師のお話です。

■シンポジウム

認知症の人やその家族が

住み慣れたまちで暮らし続けるために

—現状と課題、私たちにできること—

認知症関係当事者・支援者連絡会議の4団体メンバーに加え、日本認知症
本人ワーキンググループとともに、現状と課題を話し合います。



松本一生氏

参加方法

事前申し込み不要。

当日、左記QRコードまたはURL
から、YouTubeをご覧ください。
終了後もアーカイブ動画をご覧い
ただけます。

●主催：認知症関係当事者・支援者連絡会議

- ・(一社)全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会
- ・男性介護者と支援者の全国ネットワーク
- ・レビー小体型認知症サポートネットワーク
- ・(公社)認知症の人と家族の会

●共催：

(一社)日本認知症本人ワーキンググループ

●後援：(一社)日本認知症ケア学会

●協賛： アクサ生命

●問い合わせ

認知症関係当事者・支援者連絡会議 事務局
公益社団法人認知症の人と家族の会 (鎌田・辻村)
〒602-8222 京都市上京区晴明町811-3 岡部ビル2F
☎ office@alzheimers.or.jp ☎ 050-5358-6580

認知症関係当事者・支援者連絡会議ホームページ <https://ninchisho-renrakukai.com/>

